

# 目次

## ゲオホールディングスについて

- 02 目次、編集方針
- 03 企業理念
- 04 沿革
- 06 At a glance

## 価値創造ストーリー

- 07 ゲオグループの価値創造ストーリー
- 08 トップメッセージ
- 14 価値創造プロセス

## 成長戦略

- 16 事業概要
- 17 GEO / GEO mobile
- 18 2nd STREET
- 19 海外事業
- 20 Luck Rack
- 21 OKURA
- 22 viviON

## 価値創造を支える基盤

- 23 ゲオグループのサステナビリティ活動
- 24 サステナビリティ基本方針・推進体制
- 25 マテリアリティ(重要課題)の特定
- 27 TCFD提言に基づく情報開示
- 28 事業運営におけるGHG排出
- 29 環境への取り組み
- 30 ゲオグループの人的資本戦略
- 31 人事部門責任者インタビュー
- 33 能力とキャリアを創造する配転教育制度
- 36 チェーンストアの商品政策を学ぶアメリカ研修
- 37 スペシャリストの育成
- 38 多彩な経歴を持つスペシャリストたち
- 40 D&I、人的資本に関する指標と実績
- 41 ワーク・ライフ・バランス
- 42 コーポレート・ガバナンス
- 46 社外取締役座談会
- 50 ステークホルダーエンゲージメント

## データセクション

- 51 財務・非財務情報
- 52 外部からの評価、株式情報
- 53 会社概要

## 編集方針

「統合報告書2025」では業績や経営戦略といった財務情報に加え、ゲオグループの成長を支える基盤としての「環境・社会・ガバナンス (ESG)」をはじめとする非財務情報を開示しています。当社グループが社会に対してどのような価値を創出しているか、また企業価値をいかに高めていくかというプロセスについて、ステークホルダーの皆さまに深くご理解いただくことを目的として編集した報告資料となっています。

## 参考としたガイドライン

国際統合報告評議会 (IIRC) の国際統合報告フレームワーク並びに価値報告財団 (IFRS) の基準に沿って作成

## 報告対象範囲

対象期間 2024年4月～2025年3月

※一部対象期間外の情報を含む

対象組織 株式会社ゲオホールディングス  
および国内・海外関係会社グループ

## 見通しに関する 注意事項

本統合報告書にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。これらのデータや将来の予測は、不確定的な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

## ゲオホールディングスの情報開示体系



# 豊かで楽しい 日常の暮らしを提供する

私たちゲオグループは、お客さまの日常の暮らしに対して  
「身近に広がる豊かさ楽しさ」を  
実感していただくためのサービスを提供し続けます。  
そのために**Change as Chance**（変化の中にこそチャンスあり）を、  
グループ全員の一人ひとりのDNAとし、  
世の中に豊かさや楽しさを広げていくために  
いま何をすべきかを追求し、実践していきます。



株式会社ゲオホールディングス

# 沿革

## 1980-

86年 6月 遠藤結城(創業者)が愛知県豊田市にビデオレンタル店(ビデオロードショー美里店)を開業

88年 4月 個人営業から法人に改組

89年 12月 『GEO』の屋号の使用開始

## 1990-

90年 12月 中古CDの取り扱い開始

93年 7月 古本の取り扱い開始

95年 12月 POSシステムの導入により直営店のオンライン化が完了

96年 1月 ゲオ事業として初のリユース衣料・服飾雑貨を取り扱い開始(『なんでもR』屋号)

4月 株式会社ゲオと株式会社ゲオミルダが株式会社ゲオを存続会社として吸収合併

99年 12月 株式会社藤田商店より日本ブロックバスター株式会社を取得し100%子会社化(社名を株式会社ゲオグローバルに変更し、2010年10月当社に吸収合併)

## 2000-

00年 11月 大阪証券取引所ナスダックジャパン市場上場(2004年3月24日上場廃止)

01年 3月 東和メックス株式会社その他3社より7月1日付で131店舗譲受発表および契約締結

4月 株式会社マイカルより株式会社ゲオエブリ(旧社名 株式会社ビプロス)取得、グループ会社化

02年 10月 北海道のそうご電器株式会社を民事再生支援により100%子会社化(社名を株式会社ゲオイェスに変更し、2010年10月当社に吸収合併)

03年 7月 四国の株式会社ロッキーを子会社化し四国エリアに進出(社名を株式会社ゲオステーションに変更し2010年10月当社に吸収合併)

8月 株式会社宝船を民事再生支援により100%子会社化(社名を株式会社ゲオアクティブに変更し、2010年10月当社に吸収合併)

04年 1月 名古屋証券取引所市場第一部上場(2014年3月15日上場廃止)

1月 東京証券取引所市場第一部上場

3月 売上1,000億円達成

6月 マツモト電器株式会社を民事再生支援により100%子会社化(社名を株式会社ゲオークルに変更し、2010年10月当社に吸収合併)

05年 12月 『GEO』が高知県に「GEO四万十店」を開店し、全都道府県出店を達成

08年 6月 株式会社フォー・ユーに対して株式公開買付実施および第三者割当増資を引き受け、連結子会社化(社名を株式会社セカンドストリートに変更し、2013年4月株式会社ゲオに吸収合併)

7月 株式会社ばすれん(現株式会社ゲオネットワークス)を100%子会社化



ゲオ春日井店  
創業時から続く店舗  
1989年オープン(愛知県春日井市)



セカンドストリート東バイパス店  
セカンドストリート1号店  
1996年オープン(香川県高松市)



2nd STREET Melrose  
セカンドストリート海外1号店  
2018年オープン(カリフォルニア州ロサンゼルス)

2010-

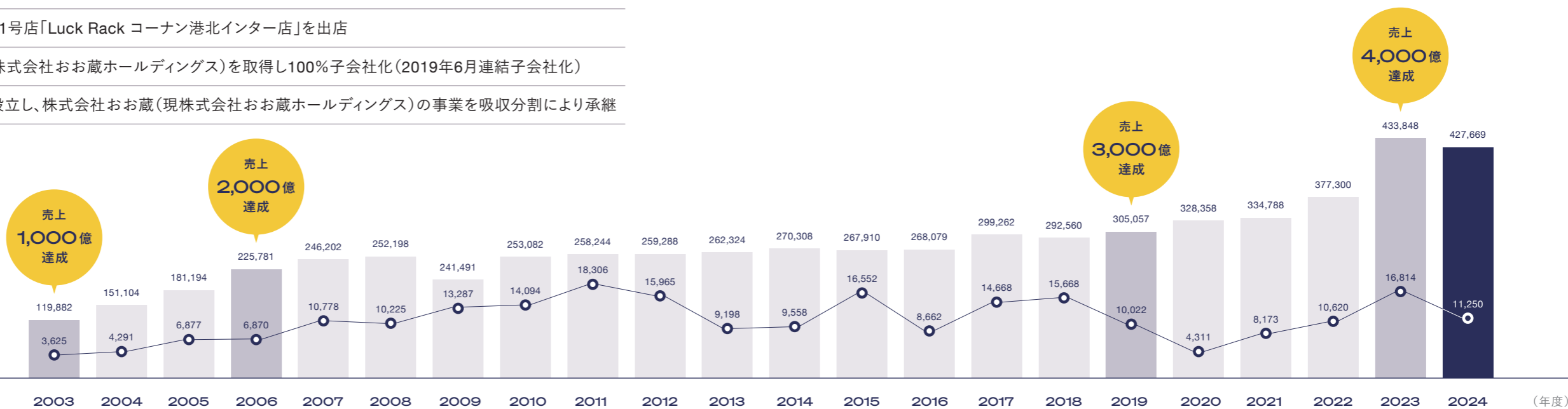
10年	5月	株式会社エイシスを取得し100%子会社化
	7月	株式公開買付により株式会社ウェアハウスを連結子会社化(2014年4月株式会社ゲオに吸収合併)
	9月	株式会社セカンドストリートを100%子会社化
	10月	『GEO』の運営に関連する連結子会社11社を吸収合併し、小売サービス事業を当社が継承
11年	11月	小売サービス事業を会社分割により新設した株式会社ゲオに継承し、当社社名を株式会社ゲオホールディングスに変更
13年	4月	株式会社セカンドストリートの事業であるリユースショップ『2nd STREET』運営を株式会社ゲオが承継
	7月	本社を愛知県名古屋市中区に移転
	12月	株式会社ファミリーブックを100%子会社化
14年	4月	株式会社ゲオと株式会社ウェアハウスが株式会社ゲオを存続会社として吸収合併 モバイル専門店業態(GEO mobile)での出店開始
	10月	株式会社ぼすれんを株式会社ゲオネットワークスに社名変更
	12月	株式会社グラモラックスを取得し100%子会社化
16年	3月	『2nd STREET』が国内500店舗の出店を達成
17年	2月	株式会社ワールドモバイルを子会社化
	6月	株式会社チェルシーを子会社化
18年	1月	『2nd STREET』が米国に海外初となる1号店「2nd STREET Melrose」を出店
	6月	『2nd STREET』がマレーシアに1号店「2nd STREET SS13」を出店
19年	4月	オフプライスストアの1号店「Luck Rack コーナン港北インター店」を出店 株式会社お蔵(現株式会社お蔵ホールディングス)を取得し100%子会社化(2019年6月連結子会社化)
	7月	株式会社OKURAを設立し、株式会社お蔵(現株式会社お蔵ホールディングス)の事業を吸収分割により承継

2020-

20年	4月	株式会社ゲオ(2020年4月社名を株式会社ゲオアセットに変更)の各事業を吸収分割により、株式会社ゲオ、株式会社ゲオストア、株式会社セカンドストリートに分割
	8月	『2nd STREET』が台湾に1号店「2nd STREET 台北西門」を出店
21年	10月	株式会社viviONを設立し、株式会社エイシスの一部事業を吸収分割により継承
22年	4月	東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、東京証券取引所プライム市場に移行 株式会社rockの株式を取得し、子会社化
23年	4月	『GEO mobile』が国内500店舗の出店を達成
	12月	『2nd STREET』がタイに1号店「2nd STREET BIG-C RAMA4」を出店
24年	10月	『2nd STREET』が海外100店舗の出店を達成
25年	4月	『2nd STREET』がシンガポールに1号店「2nd STREET 313@somerset」を出店 『2nd STREET』が国内外1,000店舗の出店を達成
	5月	『2nd STREET』が香港に1号店「2nd STREET MOKO新世紀廣場」を出店

売上高と  
営業利益の推移

■ 売上高 ○ 営業利益  
(百万円)



# At a glance

日本最大のリユースチェーンとして、サーキュラーエコノミーを推進

## 財務情報

売上高	営業利益	株式時価総額	自己資本利益率 (ROE)	配当	株価収益率 (PER)
4,276億円	112億円	637億円	5.0%	34円/株	15.88倍

(2025年3月末時点)

## 事業規模と市場ポジション

### 国内No.1のリユースチェーン

リユース市場  
国内シェア

衣料・服飾品	約15%
スマホ・タブレット端末	約32%

※ 出典:リユース経済新聞「リユース市場データブック2024」を基にゲオホールディングス推定

### 総店舗数

2,207店舗

国内2,085 | 海外122

### 主要ブランド

- 2nd STREET (国内890店舗・海外120店舗)
- GEO (国内1,051店舗)
- OKURA (国内22店舗・海外2店舗)
- Luck Rack (国内29店舗)

※ 店舗数は2025年5月時点のもの (FC・代理店含む)

### 海外展開

アメリカ、マレーシア、台湾、タイ、シンガポール、香港に展開

## 事業成長のドライバー

### リユース+デジタルで次の成長へ

- 01 積極的な出店による店舗網の拡大
- 02 業態変更による収益性の向上
- 03 EC販売による利便性の向上
- 04 リユースの商材別売上高の増加(2025年3月末時点)

リユース  
総売上

2,739億円  
前年比+12.2%

- 衣料・服飾雑貨:1,021億円 (前年比+16.6%)
- ラグジュアリー:582億円 (前年比+6.4%)
- モバイル:454億円 (前年比+27.4%)

- 05 EC&オンライン取引の強化 リアル×デジタルの融合
- 06 「リユース」に捉われないデジタルコンテンツ事業やオフプライス事業への参入による事業多角化・中長期的な収益基盤の安定化